

◎卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 知識・理解
 - 1) 健康の保持・増進、疾病の予防・治療に必要な栄養に関する基礎的な知識を修得している。
 - 2) 人々を取り巻く環境に関心を持ち、社会の中における自らの専門分野の意義と位置づけを理解している。
2. 汎用的技能
 - 1) 専門的な知識を活かし、食と健康に関する課題を科学的・論理的に把握・分析し、人々を健康に導く方向性を示すことができる。
 - 2) コミュニケーションスキルを身につけ、他職種と協調性を持って課題の解決に向けた連携を図ることができる。
3. 態度・志向性
 - 1) 豊かな人間性と倫理観を身につけ、積極的に物事に取り組む姿勢がある。
 - 2) 食と健康の専門家として、自らの果たす役割を自覚し、人々の QOL 向上に貢献する意欲がある。
4. 総合的な学習経験と創造的思考力
 - 1) 地域社会において、これまでに獲得した知識・技能・態度を総合的に活用し、個人や集団の課題に柔軟性を持って対応できる。
 - 2) 常に新しい知識・技術を学ぶ意志を持ち、専門家として主体的に考え、自らの行動に責任をもって社会のために貢献できる。

◎教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 初年次教育として、本学科に必要な基礎化学、生命科学、生物有機化学の科目を配置している。
2. 専門教育は、基礎科目から専門科目へ学年を追って体系的に配置されている。専門教育科目は、講義を先に、実験・実習をその後に配置して、理論を基にして実践力を養成する。
3. 栄養教諭、家庭科教諭の受験資格およびフードサイエンティストの資格取得に必要な科目は、学科の学びの中で修得できる。
4. 教養科目に関しては、4年間をとおして教養科目を選択必修として卒業までの間に修得できるように配置している。
5. 学外実習として、臨地実習やインターンシップおよび海外研修をとおして、管理栄養士業務の実際を学び、実践力やコミュニケーション力を養う。
6. 基礎教育科目として、「純心講座」「キリスト教概論」および「人間の探求」を必須科目としてカトリック精神を伝え、豊かな人間性を育むための教育の一環としている。

◎入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 知的好奇心に満ち溢れ、常に向上心をもって、食と健康に関する知識に興味・関心がある人
2. 栄養・医療・福祉に関する事柄を科学的・論理的に学ぶための基礎学力を備えた人
3. 多様な人々と協働できる基本的なコミュニケーション力のある人
4. 学んだ知識や技能をもとに、地域社会に貢献する意欲のある人